

# ちび

## 千葉県農林水産業の動向

— 令和4年度版 —



令和4年6月

千葉県マスコットキャラクター  
チーバくん

千 葉 県



## はじめに

近年、相次ぐ災害、新たな感染症の脅威、人口減少、国際競争の激化など、本県を取り巻く環境は厳しさを増しています。一方、成田空港の更なる機能強化や、圏央道、北千葉道路など広域的な道路ネットワークが完成しつつあり、半島性を克服し、県内の活力をより一層活性化させる好機を迎えています。また、再生可能エネルギーの利用拡大やデジタル技術の更なる進展などにより、様々な分野で、急速にイノベーションが進むことが予想されています。

このような状況を踏まえ、県では、本県の農林水産業の更なる発展を目指すため、具体的な取組を示した「千葉県農林水産業振興計画（令和4年度～7年度）」を3月に策定しました。この計画では、「力強く、未来につなぐ 千葉の農林水産業」を基本目標として掲げ、産出額の増大や所得の向上に向け、施策の1番目に「次世代を担う人材の育成・確保」を掲げ、新規就業者等の確保定着や本県農業をけん引する経営体の育成などに取り組んでいくこととしました。この他にも、スマート農林水産業の加速化などによる「農林水産業の成長力の強化」や、生産・流通体制の整備推進などによる「市場動向を捉えた販売力の強化」、本県が有する自然環境や歴史・食文化の活用による「地域の特性を生かした農山漁村の活性化」を進めます。さらに、令和元年の房総半島台風などの経験を踏まえ、近年頻発する自然災害や急性悪性家畜伝染病への備えなど「災害等への危機管理の強化」にも取り組んでいくこととしました。

この計画に基づく各種施策を、農林漁業者や関係団体の皆様と一体となり、本県農林水産業の持続的な発展が図られるよう推進してまいります。

本書は、令和4年度の千葉県農林水産業の動向をとりまとめたものです。

生産者、関係機関、関係団体の皆様におかれましては、農林水産業の振興のため、本書を御活用いただければ幸いです。

令和4年6月

千葉県農林水産部長 舘野 昭彦

# 目 次

はじめに

## I 千葉県農林水産業の概要

1 千葉県のすがた	1
2 産業別就業人口	1
3 産業別県内総生産	2
4 土地利用	2
5 農業生産	3
6 森林・林業	4
7 漁業生産	4
8 農家・漁家率	5
9 食料自給率	5

## II 農業の動向

1 農業産出額からみた本県農業	7
2 農業構造の動向	
(1) 農家	9
(2) 農業従事者	10
(3) 農業経営体・販売農家数の現状	11
(4) 農地所有適格法人等の現状	12
(5) 集落営農組織の現状	14
(6) 認定農業者	15
(7) 農業の新たな担い手	16
(8) 農業次世代人材投資事業	17
(9) 耕地	19
(10) 農用地の流動化と利用集積	21
(11) 都市農業	22
(12) 荒廃農地	22
(13) 多面的機能支払・中山間地域等直接支払・環境保全型農業直接支払	23
(14) 野生鳥獣による被害状況	24
(15) 生産基盤の整備	26
(16) 農業協同組合	31
3 主要農産物の生産動向	
(1) 米	33
(2) 麦	36
(3) 大豆	37
(4) 落花生	38
(5) いも類	39
(6) 野菜	40
(7) 果樹	45
(8) 花き・植木	46

(9) 環境にやさしい農業	48
(10) 飼料作物	51
(11) 畜産	53
4 主要農業構造指標の地域別特化	59
<b>III 森林・林業の動向</b>	
1 森林資源	60
2 林業構造	61
3 森林整備	62
4 林産物	64
5 路網整備	68
6 森林病虫害	68
7 森林の公益的機能と県土の保全	68
8 県民の森	69
9 県営林・公益保全林	70
10 法人の森	70
11 里山活動団体	70
12 企業や団体等による森林整備	70
<b>IV 水産業の動向</b>	
1 漁業生産の動向	
(1) 海面漁業・養殖業生産量	72
(2) 海面漁業・養殖業産出額	73
(3) 魚介藻類生産量の全国順位	73
(4) 内水面漁業の生産量	74
(5) 内水面養殖業の生産量	76
(6) 主な魚種別生産量	77
(7) 水産加工業	78
(8) つくり育てる漁業	79
2 水産業構造の動向	
(1) 漁業経営体数	81
(2) 業種別漁労体数	82
(3) 漁業就業者数	82
(4) 漁業の担い手の確保	83
(5) 漁業従事世帯員数	84
(6) 漁船数	86
(7) 水産業協同組合	87
(8) 沿海地区漁協等	89
(9) 漁港整備	90
<b>V 横断的・戦略的な項目の動向</b>	
1 県産農林水産物・食品の輸出	91
2 6次産業化	93

3	農林水産物直売所	94
4	新たな技術の開発	95
<b>VI</b>	<b>東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故の影響と対応</b>	<b>98</b>

#### トピックス

・	千葉県農林水産業振興計画の策定	6
・	「第4次千葉県食育推進計画」に基づく食育の推進について	6
・	農業大学校におけるスマート農業教育の取組	18
・	豊かなむらづくり全国表彰事業で「特定非営利活動法人大山千枚田保存会」が農林水産大臣賞を受賞	23
・	長南東部地区 ほ場整備工事に着手	29
・	国営手賀沼土地改良事業が着工	30
・	高収益作物の導入による水田農業の経営発展	35
・	新品種、続々デビュー！ちばの新しい梨「秋(あき)満月(みつぎ)」カラー「Brilliant(ブリリアント)・Bell(ベル)」誕生	47
・	「第3次千葉県有機農業推進計画」に基づく有機農業の推進について	50
・	千葉県産牛乳の消費拡大の取組	58
・	森林整備広域連携モデル事業	71
・	磯焼け対策について	80
・	千葉県スマート水産業推進方針の策定	85
・	青混ぜ海苔の安定生産技術開発及び「青混ぜ海苔フェア」での千葉海苔のPR・販売イベント	97

#### [参考]

1	市町村別主要農業構造指標	106
2	千葉県農業の主要指標	110
3	千葉県農業の主要指標の推移	111
4	千葉県森林・林業の主要指標	112
5	千葉県水産業の主要指標	113
6	農林水産業災害の状況	114
7	生産資材(A重油・家畜飼料・肥料)の購入価格の推移	123
8	主要農畜産物の生産費の推移(水稲・生乳)	124
9	我が国の食料需給動向	126
10	千葉県農産物の全国ランキング(令和2年)	127
11	千葉県水産物の全国ランキング(令和2年)	131
12	農林水産部予算課別総括表(一般会計)	133
13	農業産出額上位道県における、当初予算額と農業産出額の推移	134
14	ちばの旬(青果物)	135
15	ちばの旬(花き)	137
16	ちばの旬(水産物)	139
17	千葉県で行われている漁業	140
18	千葉県農林水産部組織体系図	141
19	統計関係用語集	142
20	令和3年度の千葉県農林水産業の主なできごと	144



# I 千葉県農林水産業の概要

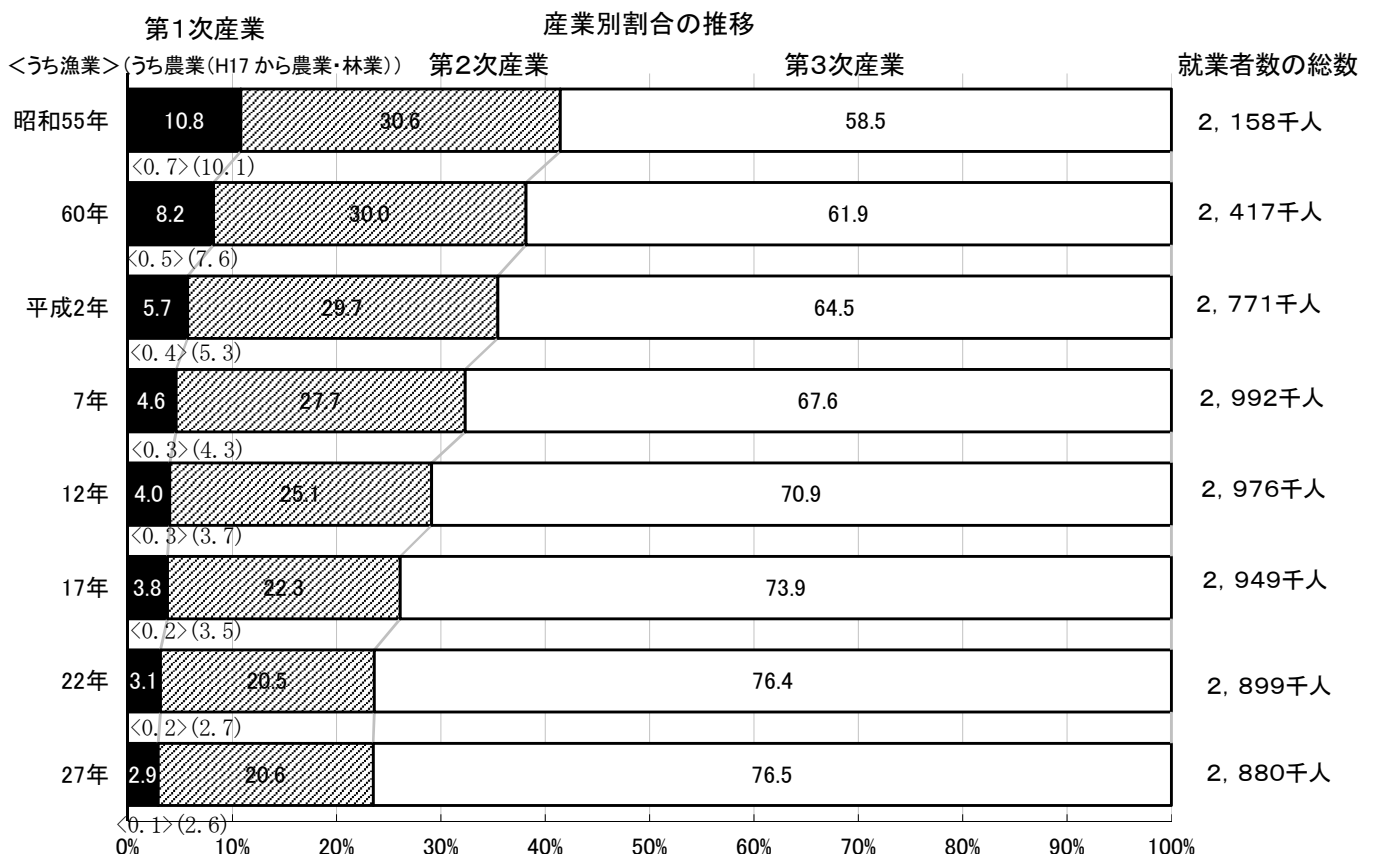
## 1 千葉県のすがた

- (1) 四方を海と川に囲まれ、水と緑の豊かな自然に恵まれた千葉県は、首都圏の東側に位置し、南東は太平洋、西は東京湾に面し、太平洋に突き出た半島になっている。また、北西は東京都と埼玉県に、北は茨城県に接している。
- (2) 面積は、5,157.31平方キロメートル、全国第28位であり、東京都と神奈川県を合わせたよりも広い。(令和3年10月1日現在)  
 地勢は、南部の200~300m級の山々が続く房総丘陵、東京湾岸の低地、北部の比較的平坦な下総台地、利根川流域と九十九里沿岸に広がる平野となっている。(県内最高峰：愛宕山408m)  
 海岸線の長さは、531km(令和2年3月31日現在)に及び、変化に富んだ景観を見せている。
- (3) 三方を海に囲まれた千葉県は、冬暖かく夏涼しい海洋性の温暖な気候である。特に南房総沿岸は、沖合を流れる暖流(黒潮)の影響を受け、冬でもほとんど霜が降らない。降水量は、夏季に多く、冬季は少ない気候となっている。

## 2 産業別就業人口(平成22年比 総就業者数1.9万人減、うち1次産業2.6千人減)

- (1) 県内総就業者数(平成27年)は2,880千人で、産業別には、第一次産業が80千人(産業別割合※2.9%)、第二次産業が560千人(同20.6%)、第三次産業が2,082千人(同76.5%)、分類不能の産業が157千人となっている。農業、林業は76千人(同2.6%)、漁業は4千人(同0.1%)となっている。
- (2) 平成22年と比較すると、総数で19千人、第一次産業で2.6千人減少し、第二次産業で3千人、第三次産業で8千人増加している。産業別の構成比はほぼ横ばいである。

※割合は、分母から「分類不能の産業」を除いて算出している。(資料：国勢調査)





### 3 産業別県内総生産（県内総生産は名目で1.1%減、農林水産業9.6%減）

- (1) 令和元年度の千葉県経済の規模（県内総生産）は名目で21兆2,796億円、実質で20兆9,816億円となり、経済成長率は名目で1.1%減、実質1.7%減となった。
- (2) 農林水産業の名目総生産額は1,848億円で、前年度に比べ9.6%減、県内総生産に占める構成比は0.9%となった。

経済活動別県内総生産（生産側・名目）

（単位：億円、%）

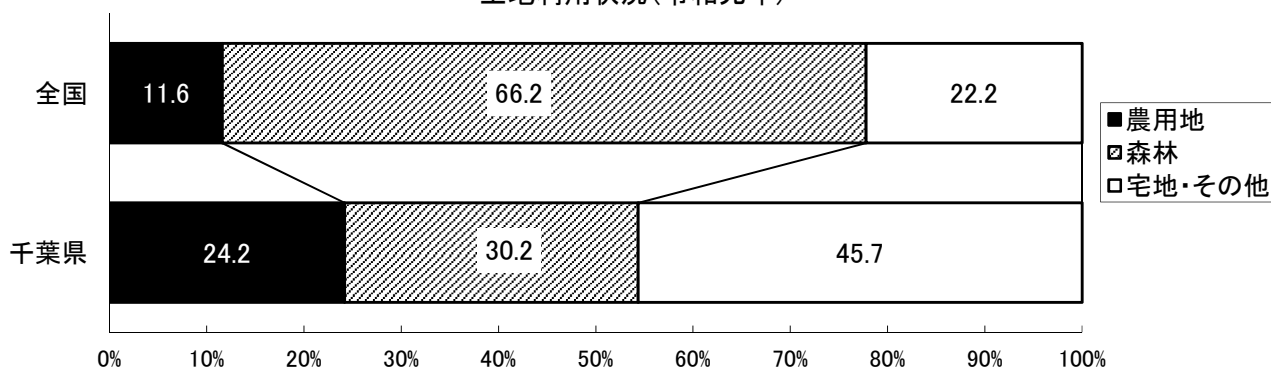
区分	平成27年度		28年度		29年度		30年度		令和元年度	
農林水産業	2,167	1.0	2,413	1.2	2,382	1.1	2,045	1.0	1,848	0.9
うち農業	2,000	1.0	2,245	1.1	2,212	1.0	1,885	0.9	1,708	0.8
うち林業	14	0.0	14	0.0	14	0.0	18	0.0	18	0.0
うち水産業	153	0.1	155	0.1	156	0.1	143	0.1	122	0.1
第2次産業	48,408	23.4	47,798	23.1	52,309	24.5	52,071	24.2	50,052	23.5
第3次産業	154,657	74.9	155,283	75.2	157,791	73.9	160,226	74.5	159,934	75.2
小計	205,233	99.4	205,494	99.5	212,482	99.5	214,342	99.6	211,834	99.5
輸入税	3,544	1.7	3,096	1.5	3,504	1.6	3,787	1.8	3,685	1.7
その他（控除）	2,321	1.1	2,112	1.0	2,488	1.2	3,019	1.4	2,723	1.3
県内総生産	206,456	100	206,478	100	213,497	100	215,110	100	212,796	100

（資料：令和元年度千葉県県民経済計算）

### 4 土地利用（全国に比べ農用地割合は2倍）

- (1) 千葉県の総面積は51.6万haであり、主な土地利用状況（令和元年）をみると、農用地が12.5万ha（24.2%、前年比597ha減）、森林が15.6万ha（30.2%、前年比365ha減）、宅地・その他が23.6万ha（45.7%、前年比961ha増）となっている。
- (2) 全国平均と比べると農用地、宅地・その他の割合が約2倍と高くなっており、森林の割合は全国平均の半分以下である。

土地利用状況（令和元年）



千葉県の土地利用（令和元年）

（単位：万ha・%）

項目	総面積	農用地	森林	宅地・その他	備考
全 国 （構成比）	3,780 (100.0)	440 (11.6)	2,503 (66.2)	837 (22.2)	資料： 全 国：「令和2年度土地に関する動向」 （国土交通省調べ） 千葉県：土地利用現況把握調査 （政策企画課調べ）
千 葉 県 （構成比）	51.6 (100.0)	12.5 (24.2)	15.6 (30.2)	23.6 (45.7)	

## 5 農業生産（産出3,853億円で全国第4位、生産農業所得は全国第5位）

- (1) 令和2年の農業産出額は3,853億円（前年比6億円減）で、全国第4位となった。
- (2) 農業産出額の構成は、米が641億円（前年比48億円減）、野菜・果実・花きを合わせた園芸が1,655億円（前年比62億円増）、畜産が1,194億円（前年比54億円減）と、園芸を中心とした農業が展開されており、首都圏の重要な食料供給基地の役割を担っている。
- (3) 生産農業所得は1,293億円（前年比60億円増）となり、全国第5位となった。

### 千葉県農業生産の位置（令和2年）

項目	順位	1	2	3	4	5	全国
農業産出額 （億円）		北海道 12,667	鹿児島県 4,772	茨城県 4,417	千葉県 3,853	熊本県 3,407	89,370
生産農業所得 （億円）		北海道 4,985	茨城県 1,606	熊本県 1,495	鹿児島県 1,415	千葉県 1,293	33,433

（資料：令和2年農業産出額及び生産農業所得）

### 主な部門別の農業産出額（令和2年）

（単位：億円・%）

項目	合計	米	豆類	いも類	野菜	果実	花き	畜産	畜産の主な内訳		
									乳用牛	豚	鶏
千葉県 （構成比）	3,853 (100.0)	641 (16.6)	81 (2.1)	245 (6.4)	1,383 (35.9)	111 (2.9)	161 (4.2)	1,194 (31.0)	255 (6.6)	447 (11.6)	388 (10.1)
千葉県の 全国順位	4	9	2	4	3	20	2	7	6	5	6
全国 （構成比）	89,370 (100.0)	16,431 (18.4)	690 (0.8)	2,370 (2.7)	22,520 (25.2)	8,741 (9.8)	3,080 (3.4)	32,372 (36.2)	9,247 (10.3)	6,619 (7.4)	8,334 (9.3)
〈参考〉 R1 千葉県 （構成比）	3,859 (100.0)	689 (17.9)	73 (1.9)	207 (5.4)	1,305 (33.8)	114 (3.0)	174 (4.5)	1,248 (32.3)	269 (7.0)	442 (11.5)	425 (11.0)
〈参考〉 H22 千葉県 （構成比）	4,048 (100.0)	674 (16.7)	59 (1.5)	201 (5.0)	1,676 (41.4)	145 (3.6)	191 (4.7)	1,036 (25.6)	274 (6.8)	331 (8.2)	374 (9.2)

（資料：農業産出額及び生産農業所得）

### 農業構造（令和3年、2020年）

（単位：ha・経営体・%）

項目	耕地	田	畑	農業 経営体	個人 経営体				団体 経営体	法人 経営体
					主業	準主業	副業的			
千葉県 （構成比）	122,700 (100)	72,700 (59)	50,100 (41)	35,420 (100.0)	34,459 (97.3)	9,114	4,665	20,680	961 (2.7)	895
全国順位	10	10	7	6	6	5	10	8	13	6

（資料：令和3年耕地及び作付面積統計・2020年農林業センサス）

## 6 森林・林業（全国に比べ森林率は約2分の1）

- (1) 千葉県の森林面積は15.5万haで全国第40位、蓄積は29.2百万m<sup>3</sup>で42位、森林率は30.1%で46位と総体的に低位にある。また、人工林率は39.1%で、全国平均40.7%を下回っている。
- (2) 林家数は1.1万戸で全国第28位であり、林家1戸当たりの保有山林面積は3.3haで全国平均の49%である。
- (3) 令和2年の特用林産物の生産は、竹材が15.1千束で全国第7位(前年8位)、たけのこは288.9tで14位(前年12位)と比較的上位にある。生しいたけは2,476.4tで全国第11位(前年13位)となっている。

### 森林資源と林家数及び林産物生産量

項目	森林資源				林家数 (万戸)	生産量			
	森林面積 (万ha)	人工林率 (%)	蓄積 (百万m <sup>3</sup> )	森林率 (%)		素材 生産量 (千m <sup>3</sup> )	生しいたけ 生産量 (t)	竹材 生産量 (千束)	たけのこ 生産量 (t)
千葉県	15.5	39.1	29.2	30.1	1.1	58	2,476.4	15.1	288.9
全国順位	40	36	42	46	28	42	11	7	14

- (注) 1 千葉県の森林面積、人工林率、蓄積、森林率はR3.3.31現在の数値(森林課調べ)  
 2 森林面積、人工林率、蓄積、森林率の全国順位はH29.3.31現在の数値(林野庁「森林資源の現況」)  
 3 林家数は2020年農林業センサス  
 4 素材生産量、特用林産物の生産量及び全国順位(生しいたけ、竹材、たけのこ)は、令和2年次の数値(R2年木材統計、R2年特用林産基礎資料)

## 7 漁業生産（海面漁業漁獲量が全国第8位、海面陸揚金額が全国第7位）

- (1) 令和2年の海面漁業・養殖業生産量(属人)は、103,285t(前年比11.7%減、13,630t減)で全国第12位(前年10位)、産出額は約252億円(前年比6.7%増、16億円増)で全国17位(前年18位)となった。生産量の内訳は、海面漁業漁獲量が99,143t(前年比10.9%減、12,070t減)で全国第8位(前年7位)、海面養殖業収獲量が4,142t(前年比27.4%減、1,560t減)で全国第22位(前年22位)である。
- (2) 令和元年の海面陸揚金額(属地)は、476億円(前年比11.4%減、61億円減)で全国第7位(前年6位)である。
- (3) 令和2年の内水面漁業・養殖業生産量は138t(前年同量)で、全国34位(前年34位)である。内訳は、内水面漁業漁獲量が50t(前年比2.0%増、1t増)、内水面養殖業収獲量が88t(前年比1.1%減、1t減)である。

### 漁業生産量(令和2年)・海面陸揚金額(令和元年)

順位	海面漁業・養殖業生産量		海面漁業漁獲量		海面陸揚金額	
	都道府県名	生産量(t)	都道府県名	漁獲量(t)	都道府県名	金額(億円)
1位	北海道	989,026	北海道	894,911	北海道	1,669
2位	茨城県	302,213	茨城県	302,213	宮城県	697
3位	長崎県	251,080	長崎県	228,051	長崎県	604
4位	宮城県	248,959	静岡県	184,055	鹿児島県	590
5位	静岡県	186,500	宮城県	165,161	静岡県	514
6位	青森県	172,491	三重県	124,667	愛媛県	510
7位	愛媛県	148,150	宮崎県	118,947	千葉県	476
8位	三重県	144,639	千葉県	99,143	青森県	425
9位	宮崎県	132,286	鳥取県	91,390	福岡県	318
10位	広島県	118,116	青森県	91,117	佐賀県	300
11位	兵庫県	117,988	島根県	89,364	兵庫県	281
12位	千葉県	103,285	愛媛県	81,166	鳥取県	252

(資料：令和2年漁業・養殖業生産統計、令和元年漁港港勢、令和元年の海面陸揚金額は県調べ)

## 8 農家・漁家率（農家、漁家共に年々減少）

- (1) 県総世帯数及び総人口に占める農家率は、都市化に伴う世帯数・人口の増加と、農家数・農家人口の減少によって年々低下している。
- (2) 平成7年に2,015千戸だった県の総世帯数は、令和2年には2,799千戸と784千戸あまり増加した。

これに対し、平成7年に105千戸だった農家数は、令和2年には、51千戸と54千戸あまり減少し、5.2%だった農家率は、1.8%まで減少した。

また、平成7年に5千戸だった漁家数は、平成30年には2千戸と3千戸あまり減少し、漁家率も0.2%から0.1%と減少した。

千葉県農家・漁家率

(単位：千戸・千人・%)

区分	平成7年	12年	17年	20年	22年	25年	27年	30年	令和2年
総世帯数	2,015	2,173	2,325	2,454	2,515	2,573	2,609	2,726	2,799
農家数	105	92	82	—	74	—	63	—	51
農家率	5.2	4.2	3.5	—	2.9	—	2.4	—	1.8
漁家数	5	4	4	3	—	2	—	2	—
漁家率	0.2	0.2	0.2	0.1	—	0.1	—	0.1	—

—：未公表のもの

(資料：千葉県毎月常住人口調査、農林業センサス、漁業センサス、千葉県農林水産統計年報)

(注) 総世帯数は千葉県毎月常住人口調査の10月1日時点の数値。

漁家数は漁業センサス及び千葉県農林水産統計年報の個人経営体数

## 9 食料自給率（生産額ベースは59%、カロリーベースは前年度に比べ2%減少）

- (1) 千葉県の令和元年度のカロリーベースの食料自給率（概算値）は、24%で、全国第35位である。
- (2) 千葉県の食料自給率が低い理由としては、熱量が低い野菜等の生産が多いこと、人口が多いことがあげられる。

令和元年度都道府県の食料自給率及び全国順位(概算値)

全国順位	都道府県	食料自給率		〈参考〉人口
		カロリーベース	(生産額ベース)	
	全 国	38%	(66%)	126,167千人
1位	北海道	216%	(4位) (211%)	5,250千人
2位	秋田県	205%	(8位) (163%)	966千人
3位	山形県	145%	(6位) (191%)	1,078千人
7位	鹿児島県	78%	(2位) (275%)	1,602千人
13位	茨城県	66%	(14位) (122%)	2,860千人
17位	宮崎県	60%	(1位) (284%)	1,073千人
35位	千葉県	24%	(31位) (59%)	6,259千人
45位	神奈川県	2%	(45位) (12%)	9,198千人
46位	大阪府	1%	(46位) (6%)	8,809千人
47位	東京都	0%	(47位) (3%)	13,921千人

カロリーベース

都道府県別食料自給率 (%) =

$$\frac{1人・1日あたりの各都道府県産熱量}{全国の1人・1日あたり供給熱量(2,340kcal)} \times 100$$

純食料100gあたりの熱量

米(342.0kcal)・いも類(70.4kcal)・  
野菜(27.7kcal)・果実(68.4kcal)・  
肉類(194.0kcal)

(令和元年度食料需給表(確定値))

(資料：令和元年度 都道府県別食料自給率(概算)、総務省「人口推計」(令和元年10月1日現在))

## 千葉県農林水産業振興計画の策定

本計画は、令和4年度から令和7年度までを計画期間とし、「力強く、未来につなぐ 千葉の農林水産業」を基本目標として、概ね10年度までの数値目標（下表参照）を定め、農林漁業者の所得向上を図ることとしています。

基本目標の実現に向け、基本施策「次世代を担う人材の育成・確保」、「農林水産業の成長力の強化」、「市場動向を捉えた販売力の強化」、「地域の特色を生かした農山漁村の活性化」、「災害等への危機管理の強化」に基づき各種施策に取り組みます。

さらに、園芸、農産、畜産、水産、森林・林業の各部門の振興については、重点的に取り組む施策をまとめ、戦略として打ち出し産出額の向上を目指します。

### 【数値目標】

目標項目	現状値	令和7年	令和12年
農業産出額	3,853億円 (令和2年)	4,500億円	5,000億円
県内漁港水揚金額	476億円 (令和元年)	580億円	600億円
農業・漁業生産関連 事業の年間販売金額	750億円 (令和元年度)	830億円	1,000億円

## 「第4次千葉県食育推進計画」に基づく食育の推進について

県では、食育基本法に基づき、平成20年に千葉県食育推進計画を策定し、市町村、関係機関・団体、ちば食育ボランティア、ちば食育サポート企業等の関係者とともに食育の推進に努めています。

県内各地で数多くの取組が行われるようになりましたが、食生活の乱れや栄養の偏り、それらに起因する肥満ややせ、低栄養など様々な問題が生じており、県民一人一人によるバランスのよい食生活の実践に向けて、より一層の食育推進が必要となっています。

また、デジタルツールを活用した情報発信や、動画配信による研修会の開催など、時間や場所を意識せずに情報が得られるような取組も重要となっています。

そこで、これまでの取組の成果と課題、食をめぐる状況を踏まえ、令和4年度からの5年間を計画期間とする「第4次千葉県食育推進計画」を令和4年3月に策定しました。

本計画では、第3次計画の基本目標「『ちばの恵み』を取り入れたバランスのよい食生活の実践による生涯健康で心豊かな人づくり」を継承しつつ、より一層食育推進の取組を充実し、県民一人一人が主役となり、健康で笑顔あふれる暮らしを実現することを目指します。

特に農林水産分野では、全国有数の農林水産業が盛んな本県の特徴を生かし、県産農林水産物の魅力発信や郷土料理の普及、農林漁業体験など、生産から消費まで食のつながりを意識した、県民の関心に寄り添った食育が広がるよう推進します。



ちば食育ボランティアによる農林漁業体験の様子  
(ピーナッツバター作り)